

令和3年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「書 I」 (光村図書)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・高校の芸術科書道では、小学校・中学校での書写を基本に、漢字の書、仮名の書、篆刻、漢字かな交じりの書の方野について学習します。先人の残したすばらしい作品から様々な書の技法を学び、自らもまた個性あふれる作品作りをします。字の上手い、下手にこだわることなく、書への関心を持ち、意欲的に取り組んでほしいものです。

・用具・用材の準備や管理、作品、作品集の提出これらに留意してください。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 ワークシート 作品集	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出	観察 ワークシート 作品集 作品提出
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・書写から書道へ ・用具・用材 ・姿勢・執筆法 ・書体の変遷 ・書の古典 	○			○	<p>a:書写と書道の類似点・相違点に興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>d:文字について関心を持ち、世界の文字と漢字、漢字の書体の変遷と仮名の誕生について理解している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>作品集</p> <p>作品提出</p>
	漢字の書(楷書) ・仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の学習 ・孔子廟堂碑 ・牛橛造像記 ・仮名の成立 ・仮名の基本線 ・いろは歌 	○	○	○	○	<p>a:さまざまな楷書の古典の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。</p> <p>b:楷書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。</p> <p>c:楷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。</p> <p>d:さまざまな楷書の古典の美とその技法について理解している。</p> <p>a:仮名の成立と平安古筆の美に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>作品集</p> <p>作品提出</p>
2学期	漢字の書(行書)	<ul style="list-style-type: none"> ・書聖王羲之について ・蘭亭序(半切1/2) ・空海について ・風信帖(半切1/2) 	○	○	○	○	<p>a:王羲之と空海の人と書について、理解を深めようとしている。</p> <p>b:行書の変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。</p> <p>c:用具・用材、字形、全体構成などの表現の技能を見に付け表している。</p> <p>d:王羲之と空海の人と書について理解している。</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>作品集</p> <p>作品提出</p>

